

科学を学ぼう、子供向け体験型学習教室の御案内

平成30年11月21日

薩摩川内市企業連携協議会の主催による学習教室(第2回)を開催します。

参加費無料、親子で参加できる楽しい学習教室です。

・日時：平成30年12月15日(土曜日) 9:00～11:00

8:30～9:00 受付

9:00 開会挨拶 薩摩川内市企業連携協議会

来賓挨拶 京商株式会社 代表取締役社長 渡邊克美 様

技術指導 京商株式会社 執行役員 石川博義 様

技術指導 ONE'S HOBBY 代表 内田真悟 様

10:00 体験学習(サーキット走行)

11:00 終了・解散

11:10～12:00 自由参加(希望者のみサーキットにて自由走行)

・場所：薩摩川内市比野小学校(多目的ホール)

・費用：参加費無料

・対象：小学生～高校生

・申込方法：事前登録制 → ms.ac.desk@gmail.com に空メール(本文なし)を送って下さい。

体験学習の申込み締切は12月8日まで、

見学参加の申込み締切は12月14日まで、

※申し込み多数の場合は抽選となります。



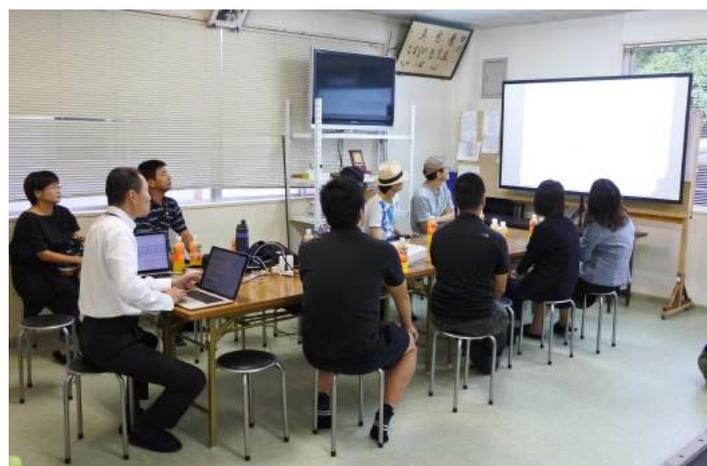
↑スマートフォン↑



心身錬磨、礼節を学びます



わからないところは聞いちゃおう！



親御さんにも学習方法を説明します



教科書ではなく、体験しながら楽しく学びます

<これからの日本の働き方>

私達の生活はインターネットの普及や技術の発展で便利になり、それらに携わる仕事も増えています。会社に就職してテレワーク(在宅勤務)で仕事をする、そんな働き方が始まっています。通勤渋滞が緩和されるなど環境にも優しく、子育て世帯にも嬉しい仕事スタイルです。いまのところ、在宅勤務に適しているのはパソコンを使う理工系(IT技術やプログラマーなど)の職種です。様々な職種で広がりを見せていますが、すべての職種が対応できるわけではありません。

テレワーク(在宅勤務)を導入している企業の一例:

- ・週5日の勤務日のうち、3日間は会社に出勤、残り2日間は在宅勤務。
- ・在宅勤務の日は会社から支給されたパソコンを使って自宅で仕事をします。
- ・パソコンを使用した時間や作業内容等が記録され、お昼の休憩をして終業時刻になると勤務終了します。

<専門知識を有する職種が人気>

- ・安定した収入を得られる仕事に就いてもらいたい
- ・理工系エンジニアを目指すにはどんなことから始めればいいのか？
- ・興味あるけど難しそう

小学校では2020年からプログラミング教育が導入されるなど、最近は理工系の人財育成が注目されています。早い時期から子供達に学びの機会を与えることが重要ですが、専門書や文献は難解で学校や家庭で学ぶには限界があります。無理に勉強させても身につけません。まずは興味を持つことが大切です。

- ・モーターはどんな仕組みで動くの？
- ・電池が電気を発生するのは何故？
- ・目に見えない電波の仕組みは？
- ・電子制御って何？
- ・ITとかプログラムのことを教えて！

保護者の方もお子様に教えるのが難しい分野でもあります。

<地元企業が子供達に学びの機会を提供>

そんな背景から始まったのが体験型科学教室(モータースポーツアカデミー)です。専門知識を有する地元企業がカリキュラムを作成し、子供達が楽しく学べる体験学習教室を開催しています。教科書や専門書の活字を「覚える」のではなく体験を通して、科学や工学への興味「なぜ？なに？どうして？」の気付きを呼び覚まし、子供達が興味を抱く学びのキッカケづくりをします。直感から学べるので女子にも人気があります。「子供のころの体験は忘れにくい」を活かした学び方です。

<体験学習=習うより慣れる>

本活動は地元企業を中心としたボランティア活動です。地域全体が連携して子供たちの学びや成長を支える支援活動を行い、

- ・地元企業と子供達の交流を深め、地域の産業を知ってもらう
- ・子供達が夢中になれるものを見つけ、就職活動の支援につなげる
- ・地域の将来を担う人財を育成します



<参加対象者>

小学生以上が対象で、保護者の方も一緒に参加できます。理工系に興味ある方、将来エンジニアを目指してみたい小学生～高校生が対象です。自動車やラジコンカーやミニ四駆に興味がある子供達や、IT系やプログラマーを目指したい女子にも人気です。

<どんなことをするの？>

最初は車(ラジコンカー)を教材にしてサーキット走行から始めます。ここで子供達に教えるのは「速く走る」ではなく「安全運転」です。車の操縦は右手と左手を同時に動かすので、とても難しいのですが、このトレーニングは脳を活性化させます。

<どんなことをするの？>

最初は1分間、慣れたら3分間、車をぶつけないように走らせて集中力を鍛えます。

教材に使用する車はパワーがあるので速く走らせたいくなりますが、学習教室の初等では我慢することを教えます。これは実際の車もそうですが、交通ルールを守ることや安全運転の重要性を学びます。

アクセルを踏めば100km出せるパワーがあっても、自制心を働かせてゆっくり走る「心のゆとり」を育てます。

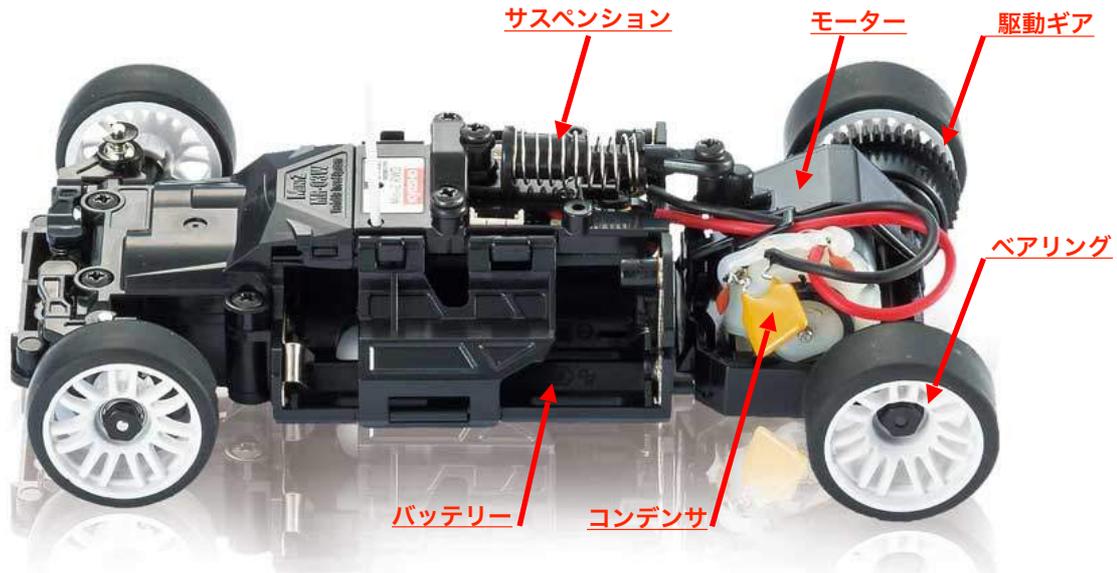
また、工具(ドライバーやレンチなど)の使い方、ハンダ付けの技術や電気の基礎なども学びます。

<自動車を教材にしているのはなぜ？>

車も鉄道も蒸気機関から始まりましたが、技術発展と共に燃料エンジンから電気モーターへと進化しています。

私達の生活を支える電気エネルギーや自動運転などの最先端技術が注目されている自動車を教材にしています。

体験から学べる科学がここにある



サーキットは道場:

操縦に慣れたらレースを行います。すべてのスポーツにルールがあるようにサーキット走行にもルールがあります。

周囲の車に気を配る集中力、他の人への思いやり、的確な状況判断と操縦技術でゴールを目指します。

自動車競技がモータースポーツと称される由縁です。

- ・脳の活性化(右手と左手を同時に動かす)
- ・思いやりの心を養う
- ・集中力を鍛える

心技一体、自他一如、一緒に学ぶ友と技術を競いながらも、相手を想いやる心とルールを守る！

学習教室ではサーキット走行を道場としています。団体行動を通して社会性を学ぶと共に健全な育成を図ります。

主催：薩摩川内市企業連携協議会

協賛：薩摩川内市立市比野小学校、京商株式会社、樋協精工株式会社、ONE'S HOBBY、M Atsugi Racing 株式会社スーパー

本件に関するお問い合わせは：

- ・モータースポーツアカデミー本部事務局 ms.ac.desk@gmail.com
- ・薩摩川内市企業連携協議会 TEL 0996 - 41 - 3252

・このイベントは事前登録制です。

参加希望される方は ms.ac.desk@gmail.com に空メール(本文なし)を送って下さい。

・このイベントは定期開催します。

今後の開催案内を希望される方は ms.ac.desk@gmail.com に空メール(本文なし)を送って下さい。